風来坊 2014
1.

≪写真アルバム≫　　京都水族館　2014.1.4.

言葉で知っていてもマジかに見てみないと解からぬ　魚や水生動物の動きや姿

孫と好奇心一杯で京都水族館へ

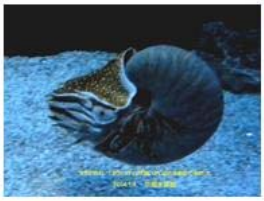
「須磨の水族館も知っているし、　水族館なんて･･･」と思いながら　京都一泊旅行をしたいという　孫を連れて行きました。
「何で京都の街中に水族館??」の思いもありますが、知らない魚に、すばらしい魚の動きに　すっかり引き込まれました

- 大水槽を乱舞する鰯の群れ　　金子みすず「大漁」のシーンを思い出していました
- 化石でしか知らなかった生きた化石「オウムガイ」が悠然と泳ぐ姿
- ほかにも「空飛ぶケープペンギン」・「くらげ」・「ゴマフアザラシ」・「いるかショウ」等々

大水槽を泳ぐ「鰯の大群」そして初めて見る生きた化石「オウムガイ」の動く姿を動画に

急旋回する鰯の大群の前を悠然と大きなエイが泳ぐ　エイは鰯を食べないんだ････と　　空とぶペンギンも面白い

水柱を上下に泳ぐゴマフアザラシ
顔のすぐ前　こんなに近くで



生きた化石「オウムガイ」
初めて知る泳ぎ方??

初めて見た鰯の群れの急ターン
「エイ」はその前を悠然と

空を駆け巡るケープペンギン
スピードが速く、面白い

イルカショウ　BGMでの
盛り上がりがないのがおしい

大漁

朝焼小焼だ
大漁だ。
大羽鰯の
大漁だ。

浜はまつりの
ようだけど
海のなかでは
何万の
鰯のとむらい
するだろう。

乱舞する「鰯の大群」に金子みすず「大漁」を描いた中島潔氏の童画のシーンがぱっと頭に・・

2014.1.4.京都水族館　大水槽

いつもイメージを膨らましてきた金子みすずの「大漁」　こんな光景だったんだと
京都清水寺にも　中島潔氏が描いた金子みすず「大漁」の襖絵が奉納されている
長門仙崎の金子みすず記念館にも　中島潔氏の金子みすずの画集が展示されていました

◆ 童謡詩人「子みすず」の街　山口県長門市仙崎を訪ねました	2007.6.9.
◆ 中島潔氏が奉納した金子みすず「大漁」のふすま絵がある京都清水寺	2012. 2.21. & 2.22.
◆ 中島潔　童画展「金子みすず-まなざし-」を見る ____　四季折々2003　bookmutsu2003.pdf　掲載____	2003.1.4.

大水槽を泳ぐエイと鰯の群れ

化石でしか知らなかった生きた化石「オウムガイ」が目の前を悠然と

空を飛ぶケープペンギンの姿

こんなくらげにも出会えました

京都水族館のイルカショウ　2014.1.4.
子供たちにはやっぱり一番の人気ですが、多少大人目線なのが気にかかる。
子供たちには　BGMで客席参加型の盛り上げが一番と思いました

気に入った「鰯の群れ」や「オウムガイ」「クラゲ」のほか「空飛ぶペンギン」や「ゴマフアザラシ」「イルカショウ」「京都の川」の展示なども

すぐ南は梅小路蒸気機関車館そして新幹線・東海道・山陰線を近く電車もすぐ見える。

入場料が高いのと　大人目線が過ぎる水族館にちょっぴり不満ですが、展示は面白い。
満足の親しい水族館でした。
こどもも好奇心を忘れずにこと。

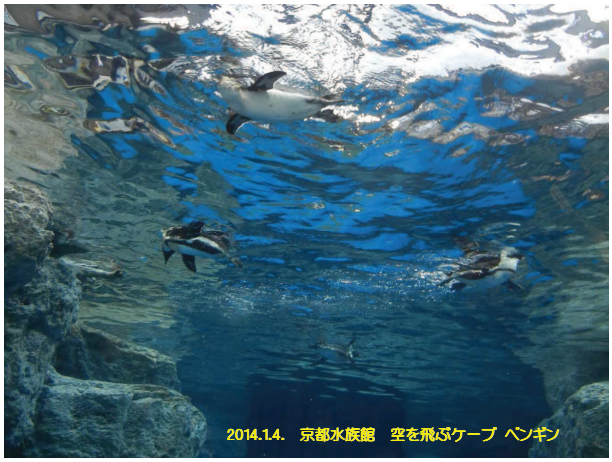
2014.1.4　Mutsu Nakanishi

2014.1.4. 京都水族館 京の川ゾーン

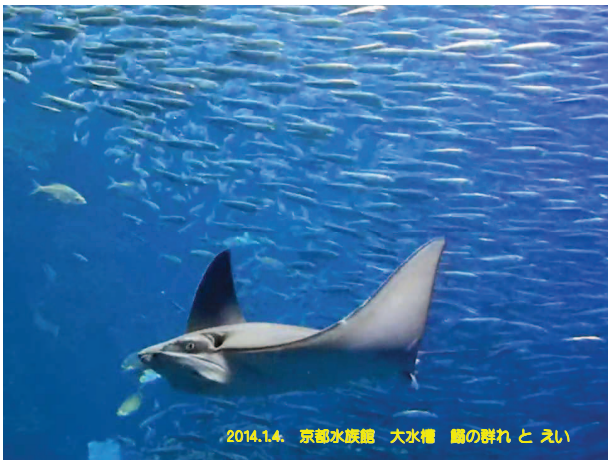
2014.1.4. 京都水族館 京の川ゾーン

2014.1.4. 京都水族館 ゴマフアザラシ

2014.1.4. 京都水族館 空を飛ぶケープ ペンギン


2014.1.4. 京都水族館 空を飛ぶケープ ペンギン

2014.1.4. 京都水族館 空を飛ぶケープ ペンギン

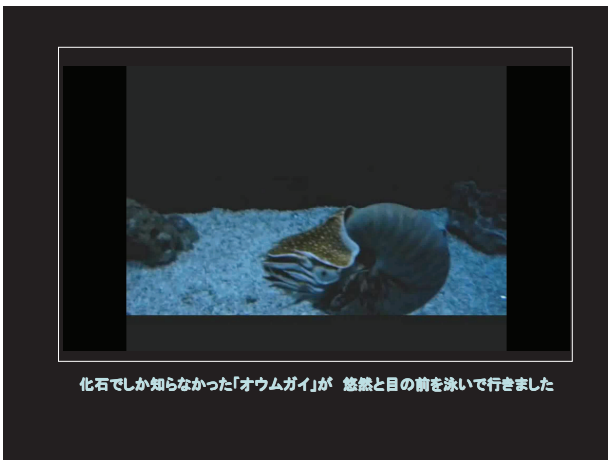


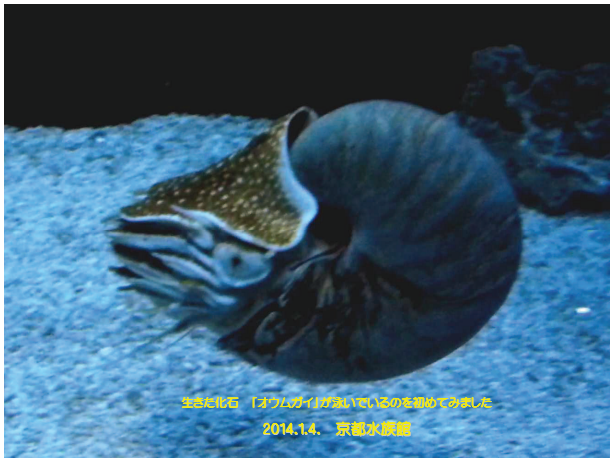
生きた化石「オウムガイ」 & 「アンモナイト」

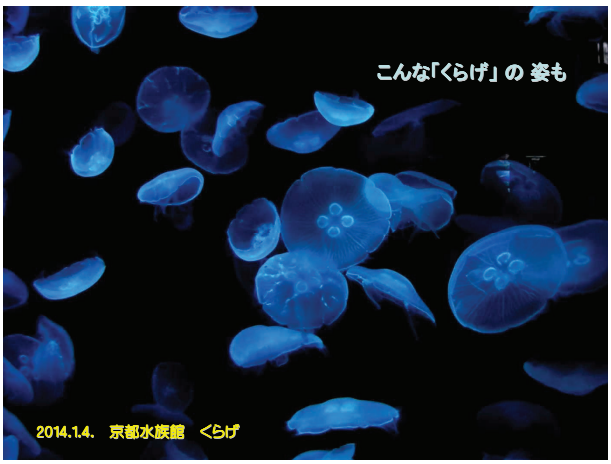
美祢でよく見た**アンモナイトは渦巻きに直角に入っている「ひだ」が凸**
オウムガイは凹　オウムガイの方が古い化石だと言う。

そんな生きた化石大きなオウムガイが悠然と目の前を泳いでいた。

初めて見る生きた化石　オウムガイの姿です







気に入った「鰯の群れ」や「オウムガイ」「クラゲ」のほか「空飛ぶペンギン」や 「ゴマフアザラシ」「イルカショウ」「京都の川」の展示なども

すぐ南は梅小路蒸気機関車館そして新幹線・東海道・山陰線を走る電車もすぐ見える。

入場料が高いのと 大人目線が過ぎる水族館にちょっぴり不満ですが、展示は面白い。満足の新しい水族館でした。

ことしも好奇心を忘れれずにと。

2014.1.4.　Mutsu Nakanishi